

## 調査等事項報告（団体名：総務文教常任委員会）

視 察 先	埼玉県戸田市
視 察 日 時	令和4年10月24日（月）13時30分～15時00分まで
視 察 項 目	戸田市の教育改革について
視 察 者	矢萩浩次、阿部正任、石澤祐一、海老名幸司、中里芳之 結城 正、田中正信、柴崎亮太
内 容	<p>1 視察の目的</p> <p>戸田市の教育改革については、県内外から大きな注目を集めており、教育委員会や学校などに、例年多くの団体が視察に訪れています。教育目標として「世界で活躍できる人間」の育成を目指しており、子どもたちがこれからの時代を生き抜くためにどのような力が必要か考え、全国最先端の教育改革を進めている自治体です。その中で教育改革のポイントとしてあげられている以下の点について調査しました。</p> <p style="text-align: center;">〈戸田市教育改革のポイント〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最先端の学びの導入</li> <li>2. 戸田型PBL（プロジェクト型学習）の推進</li> <li>3. E d T e c h（Education Technology）の推進</li> <li>4. 特別支援教育、不登校児童生徒のサポート</li> <li>5. 「戸田市教育政策シンクタンク」の設置</li> </ol> <p>2 戸田市の概要</p> <p>県の南東部にあり、荒川を挟んで東京都に隣接。首都高速道や東京外環道が通る交通の要衝で、倉庫や配送センターが集積している。工業では、食料品製造や印刷業の占める割合が高い。1985年のJR埼京線開通を機に宅地化が進み、人口が増加している。平均年齢もとても若い。</p> <p>人口：141,730人 世帯数：68,314人（令和4年9月1日現在）</p> <p>3 教育改革の概要</p> <p>直面する様々な教育課題を次のように捉え、真剣に教育改革に取り組んでいる。</p> <p>①日本の教育は、良さを徹底して伸ばすことを最優先にしてこなかった。できないことを、できるようにすることを最優先にしてきた。優先順位の第一位と第二位とを入れ替えれば良いことだけであるが、その違いの大きさと重大性に気付くべきである。</p> <p>②「誰も取り残されない」にこだわりすぎ、「少なからず子どもが取り残された」状態になっていることへの気付きが弱い。従来の形式的平等主義から脱して、公正主義に立つことで、様々な理由で取り残されている子供から救っていくことができるのではないか。</p>

③貧困、いじめ、虐待、障がい、不登校、外国人などといった事情を持つ子ども、そして、落ちこぼれても吹きこぼれても「誰一人取り残されない教育」に向け、具体的に真剣に取り組んでいく必要がある。

④日本の学校教育には、同年齢の学習集団と学年の一体化及び一斉授業、助け合い、勤勉や努力の奨励など独特の学校観、教育観などに彩られた仕組みがある。

⑤特定の分野においては他に抜きん出た優れた資質（才能）を有するが、学校になじめず、授業には興味を示さず、孤立しがちで指導が困難な子どもは、まだまだ学校教育においても学校以外の教育施設、指導者においても恵まれない。

#### 4 教育改革のコンセプト

「産官学民連携推進プラン 2022」により、産官学民連携の新たな学びの創造を進めている。

#### 5 研修の感想

感想の第一は、講師の戸田市教育長 戸ヶ崎勤氏の教育にかける情熱に圧倒されました。戸ヶ崎氏は教育者として豊富な経験・熱い情熱をもとに、現在「中央教育審議会・産業構造審議会」委員として活躍中である。研修の内容は非常に斬新な考えに基づくもので、大いに勉強になると共に、様々な取り組みに触発された。今後の市議会議員活動に活かしたい。

#### 6 各委員からの質問

- ・石澤委員：ランドセルについて
- ・田中委員：教員の勤務評定について
- ・矢萩委員長、海老名委員：総合科学、イノベーション会議について

（注記）戸ヶ崎教育長は総合科学、イノベーション会議（17名）の一員として活躍している。6期計画では、3本の柱の1つに「ひとり一人の多様な幸せと課題への挑戦を実現する教育、人材育成を掲げ活動している。

視 察 先	山梨県北杜市
視 察 日 時	令和4年10月25日（火）10時00分～12時00分まで
視 察 項 目	移住定住政策について
内 容	<p>1 視察の目的</p> <p>首都圏から車で2時間、中京圏からも車で2時間半程度というアクセスの良さを売りに、移住者が増えています。2018年には、宝島社が発行する「月刊 田舎暮らしの本」の中で「住みたい田舎ベストランキング」の人口10万人未満の小さいまち総合部門において全国第1位となるなど移住地として高い注目度を誇っている自治体です。その中で移住定住政策として実施している事項などについて調査しました。</p> <p>〈主な支援制度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市移住定住お試し住宅</li> <li>・北杜市子育て支援住宅</li> <li>・定住促進就職祝い金制度</li> <li>・北杜市移住支援金 など</li> </ul> <p>2 北杜市の概要</p> <p>山梨県内の市町村のうち最も大きな面積を有する自治体です。甲府盆地の北西部に位置し、八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳といった日本を代表とする山々に囲まれています。</p> <p>人口：46,125人 世帯数：21,964人（令和4年9月1日現在）</p> <p>3 移住定住政策取り組みの概要</p> <p>①八ヶ岳定住自立圏の形成に係る協定を締結し、観光分野などでの産業振興による地域経済の活性化等、3つの政策分野27事業の取り組みを圏域単位で実施してきた。</p> <p>②北杜市への移住定住を促進するため、子育て支援、住まい等の移住定住政策を紹介した「移住定住ガイドブック」を毎年作成している。</p> <p>③北杜市への移住を希望する方は、移住者を紹介して欲しいという要望が多いため、市としても移住者をつながることができるよう、移住相談の段階からフォローアップに努めている。</p> <p>④市へのUターンや移住定住の促進を目的に、ふるさと北杜PR動画を作成し、動画投稿サイトYouTubeの公式アカウントで公開している。</p> <p>⑤北杜市の魅力をPRし、子育て世代の移住定住を促進するため、企業や空き家バンクの物件の見学、移住者との交流会等の体験ツアーを開催している。</p> <p>⑥北杜市空き家バンクは、空き家を活用した都民住民との交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る目的で、宅建協会及び全日協会（全日本不動産協会）と協定を結び、「空き家バンク協力会」を設置している。</p>

- ⑦空き家バンクに登録した所有者、物件の借受者または購入者に対し、家財道具の処分、リフォームに係る経費を補助している。
- ⑧生活、仕事、住居等の移住定住に関する相談に対応するため、移住定住窓口において情報の提供及び発信を行っている。
- ⑨地域おこし協力隊が、市の支援制度をまとめたパンフレットを作成し、自身の経験から移住希望者や子育て世代が活用できる制度を中心に取り上げている。
- ⑩移住定住の促進及び中小企業等における人手不足を解消するため、東京圏から本市に移動し、支給要件に該当する者に対し補助している。

#### 4 今後の展望

- ①戦略的シティプロモーションの推進
- ②移住促進お試し住宅の充実
- ③若者の定住及びUターンを促進する支援制度の検討
- ④定住自立圏移住体験ツアーの充実
- ⑤ふるさと納税の新たな返礼品の開発
- ⑥移住者及び二拠点居住者等がつながるコミュニティ創出のきっかけづくり
- ⑦農地に付随した空き家の利活用の検討
- ⑧連携中枢都市圏構想の形成と移住定住の促進

#### 5 研修の感想

転入者が1,655人、転出が1,305人で350人の増である。移住前の住所地をみると、東京圏からの転入者が全体の49.8%を占めており、東京に近いという“地の利”があると思う。そういう中で、アイデアに満ちた政策を打ち出していることに感動した。とりわけ、移住定住促進の大きな柱に「空き家の活用」をあげていることは注目すべき取り組みだと思う。

#### 6 各委員からの質問

- 田中委員：空き家バンク協力会について
- 阿部委員：空き家バンクの登録件数について
- 柴崎委員：20代、30代の移住者と就職状況について
- 中里委員：空き家バンクの売買価格について